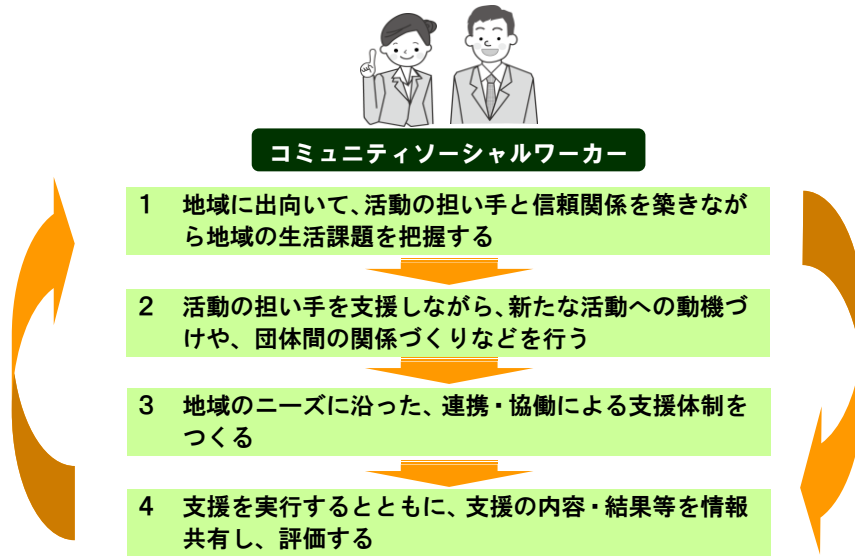


コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の取り組みについて

地域福祉の推進に関する新たな重点的取り組みとして、「CSW配置事業」を平成 25 年度より実施している。

1 CSWとは

日常的に地域の状況を把握し、地域の福祉的課題解決やより良い地域社会づくりに向けた活動を支援し、地域の力や関係者のネットワークで解決を進める役割を担う。



2 CSW配置事業について

<事業概要>

CSWを市内の各区社会福祉協議会に配置

実施体制：統括CSW、CSW（主担当）、補助職員

<実施主体>

仙台市社会福祉協議会（所管課：社会課）

3 平成 25 年度の事業展開

復興計画期間中の取り組みであることを踏まえ、復興公営住宅が建設される地域を「重点支援地区」として、見守り・支え合い体制づくりをめざす。

<重点支援地区一覧>

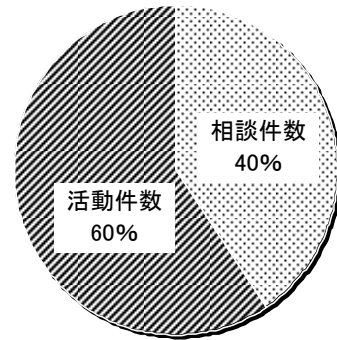
完成予定時期	復興公営住宅整備地区（重点支援地区）
平成 24 年度完成（入居完了）	北六番丁
平成 25 年度完成予定	上原、田子西、荒井東（第 1 期）、若林西、鹿野、芦の口
平成 26 年度完成予定 （仙台市整備）	通町、霊屋下、霊屋、落合、角五郎、鶴ヶ谷第二、 荒井東（第 2 期）、六丁の目駅周辺、卸町駅周辺
平成 26 年度完成予定 （公募買取）	梅田町、小田原、幸町南、燕沢東、田子西第二、宮城野、中倉、 大和町、荒井第二、六丁の目中町、あすと長町（26 街区）、 あすと長町（70-2 街区）、あすと長町（54 街区）、泉中央南

CSWの取り組み状況集計（4～9月）

1 CSWによる相談および活動

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1	相談	158	179	154	155	130	136	912
2	活動	120	141	231	288	228	322	1,330
	合計	278	320	385	443	358	458	2,242

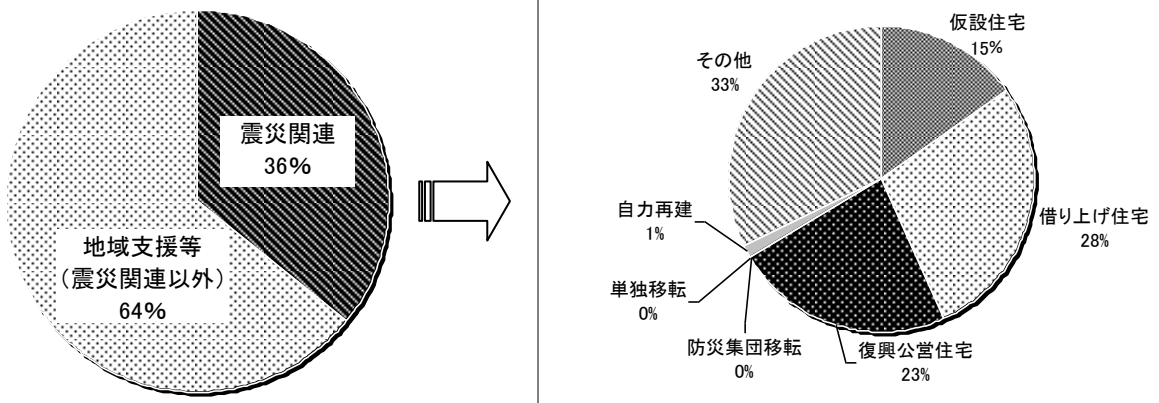
4月～9月のCSWによる相談および活動の件数は、相談が912件、活動が1,330件であり、合計2,242件であった。



■相談・活動の内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
地域支援等(震災関連以外)	154	223	248	302	221	289	1,437
震災関連	124	97	137	141	137	169	805
1 仮設住宅	(27)	(21)	(16)	(15)	(18)	(25)	(122)
2 借り上げ住宅	(45)	(20)	(43)	(35)	(38)	(45)	(226)
3 復興公営住宅	(11)	(18)	(30)	(52)	(32)	(43)	(186)
4 防災集団移転	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
5 単独移転	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
6 自力再建	(2)	(0)	(1)	(2)	(5)	(2)	(12)
7 その他	(39)	(38)	(47)	(37)	(44)	(54)	(259)
合計	278	320	385	443	358	458	2,242

<震災関連の内訳>



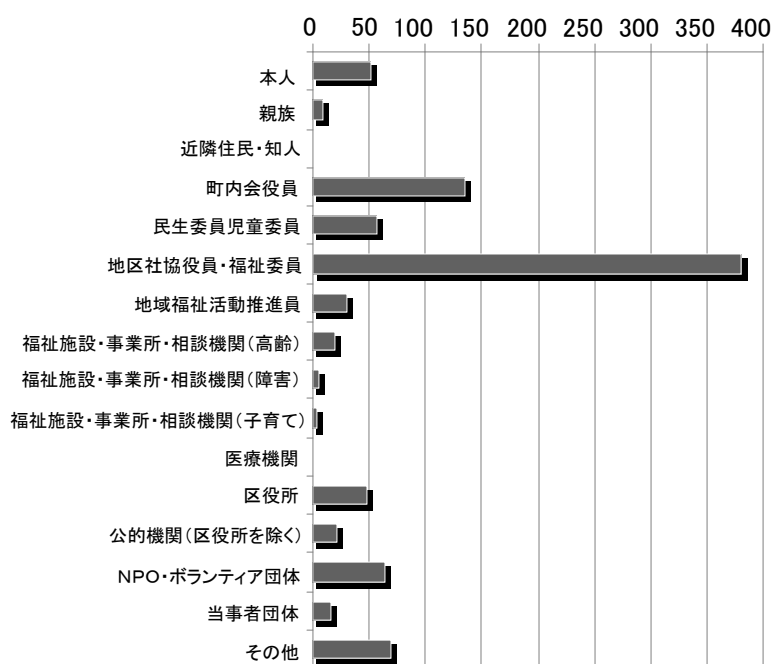
CSWの相談・活動のうち、従来からの小地域福祉ネットワーク活動を通じた地域支援等が1,437件(64%)であった。加えて、震災関連の相談・活動が805件(36%)あった。

震災関連の内訳としては、仮設住宅に関するものが122件(15%)、借り上げ住宅に関するものが226件(28%)、25年度の重点支援地区とした復興公営住宅に関する相談・活動件数は186件(23%)であった。なお、被災者支援全般に関するものや、関連する項目が複数にわたるケース(借り上げ住宅と復興公営住宅入居者の双方を対象としたサロンの開催支援など)などは「その他」として分類した。

(1) 相談件数

<相談者>

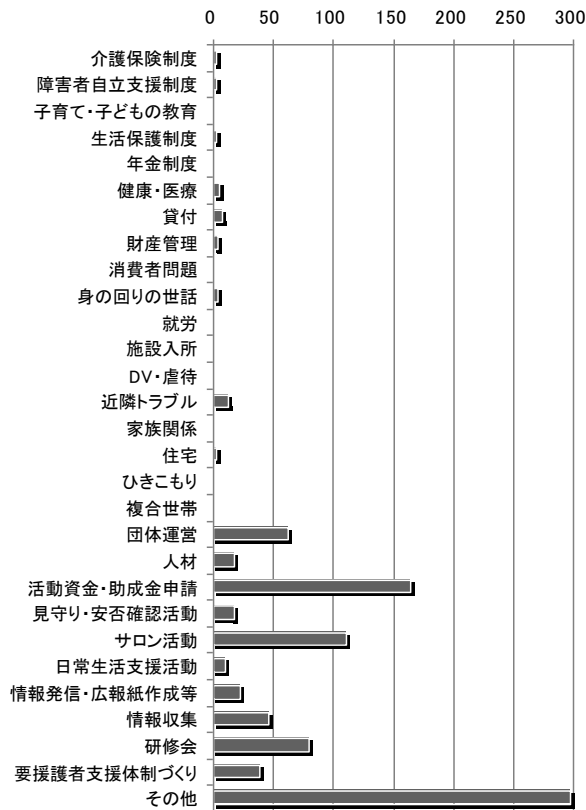
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1 本人	9	11	12	9	6	5	52
2 親族	2	0	0	3	3	0	8
3 近隣住民・知人	0	1	1	0	0	0	2
4 町内会役員	15	28	28	29	18	17	135
5 民生委員児童委員	9	9	8	10	8	12	56
6 地区社協役員・福祉委員	80	83	67	57	46	48	381
7 地域福祉活動推進員	10	8	1	6	1	5	31
8 福祉施設・事業所・相談機関(高齢)	1	2	3	3	8	3	20
9 福祉施設・事業所・相談機関(障害)	1	0	1	2	2	0	6
10 福祉施設・事業所・相談機関(子育て)	1	0	0	0	0	2	3
11 医療機関	0	0	0	0	0	0	0
12 区役所	2	9	10	11	7	9	48
13 公的機関(区役所を除く)	3	0	8	1	7	2	21
14 NPO・ボランティア団体	11	10	9	17	7	10	64
15 当事者団体	5	4	1	0	5	1	16
16 その他	9	14	5	7	12	22	69
合計	158	179	154	155	130	136	912



相談件数 912 件のうち、地区社協役員・福祉委員からの相談が 381 件（42%）と最も多く、次いで町内会役員からの相談が 135 件（15%）であった。なお、その他には他都市社協、学校、学生、マスコミ、企業などが含まれていた。

<相談内容>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1 介護保険制度	0	0	1	1	1	0	3
2 障害者自立支援制度	1	0	0	1	0	0	2
3 子育て・子どもの教育	0	0	0	0	0	0	0
4 生活保護制度	0	0	0	0	2	0	2
5 年金制度	0	0	0	0	0	0	0
6 健康・医療	0	1	1	3	0	0	5
7 貸付	2	1	1	1	0	2	7
8 財産管理	1	0	0	1	2	0	4
9 消費者問題	0	0	1	0	0	0	1
10 身の回りの世話	0	0	0	3	0	1	4
11 就労	0	0	0	0	0	0	0
12 施設入所	0	0	0	0	0	0	0
13 DV・虐待	0	0	0	0	0	1	1
14 近隣トラブル	2	2	4	1	3	0	12
15 家族関係	0	0	1	0	0	0	1
16 住宅	0	2	0	1	0	0	3
17 ひきこもり	0	0	0	0	0	0	0
18 複合世帯	0	0	0	0	0	0	0
19 団体運営	15	20	10	10	5	2	62
20 人材	7	1	1	2	2	4	17
21 活動資金・助成金申請	37	28	34	32	10	23	164
22 見守り・安否確認活動	1	7	1	2	3	3	17
23 サロン活動	15	21	25	23	17	10	111
24 日常生活支援活動	2	2	1	0	3	2	10
25 情報発信・広報紙作成等	4	1	1	3	6	8	23
26 情報収集	4	13	11	2	8	8	46
27 研修会	17	13	16	8	16	10	80
28 要援護者支援体制づくり	5	8	6	4	5	11	39
29 その他	45	59	39	57	47	51	298
合計	158	179	154	155	130	136	912

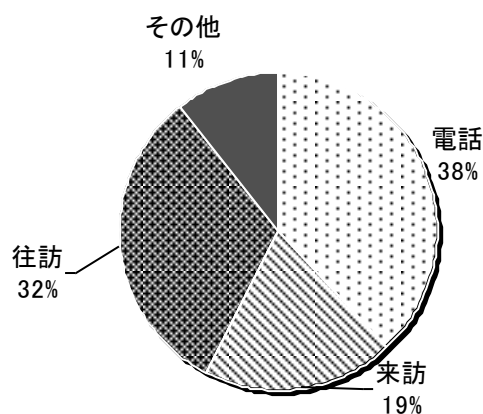


相談内容で多かったのは、活動資金・助成金申請に関するものが 164 件 (18%)、サロン活動 111 件 (12%)、研修会 80 件 (9%)、団体運営 62 件 (7%) などであった。

なお、その他が 3 割を占めており、想定していた以上に CSW に多様な相談が寄せられていた。内容としては、CSW や活動計画に関する問い合わせのほか、悩み相談などもあり、訪問時や来訪時の会話からニーズ把握や支援に繋がるケースも多かった。

(2) 活動件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1	電話	41	35	88	96	106	141	507
2	来訪	29	26	48	51	50	52	256
3	往訪	28	65	84	111	51	88	427
4	その他	22	15	11	30	21	41	140
	合計	120	141	231	288	228	322	1,330

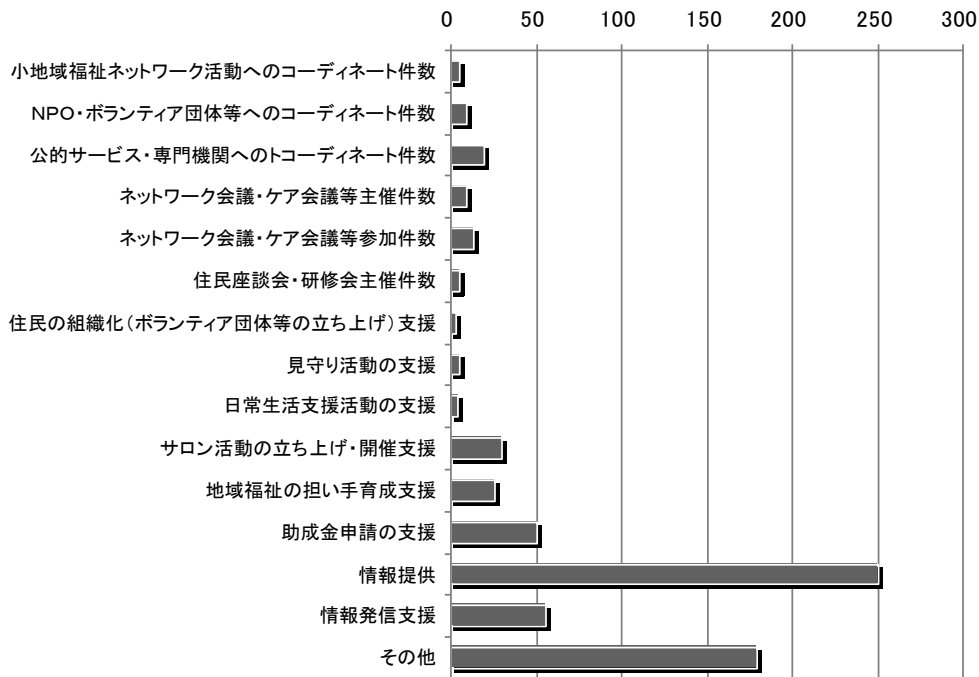


C SWが行った活動の内訳としては、電話が 507 件 (38%)、往訪が 427 件 (32%)、来訪が 256 件 (19%)、その他 (Eメールなど) が 140 件 (11%) であった。

なお、4月から5月にかけて地区社協、民児協、連合町内会、区役所、地域包括支援センター、市老連の会議等へ出向いてC SWの周知活動を行うなど、認知度向上のための活動も積極的に行った。

2 CSWによる支援結果

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1	小地域福祉ネットワーク活動へのコーディネート件数	0	0	1	2	1	1	5
2	NPO・ボランティア団体等へのコーディネート件数	0	0	3	4	1	1	9
3	公的サービス・専門機関へのコーディネート件数	2	3	0	7	3	5	20
4	ネットワーク会議・ケア会議等主催件数	1	0	0	1	6	1	9
5	ネットワーク会議・ケア会議等参加件数	2	0	0	4	2	5	13
6	住民座談会・研修会主催件数	0	0	0	1	1	3	5
7	住民の組織化(ボランティア団体等の立ち上げ)支援	1	1	0	1	0	0	3
8	見守り活動の支援	2	1	0	1	0	1	5
9	日常生活支援活動の支援	1	2	0	1	0	0	4
10	サロン活動の立ち上げ・開催支援	5	7	3	5	4	6	30
11	地域福祉の担い手育成支援	3	1	4	10	2	6	26
12	助成金申請の支援	6	18	7	7	6	7	51
13	情報提供	25	40	36	44	31	75	251
14	情報発信支援	5	3	9	10	10	19	56
15	その他	14	44	38	31	20	32	179
	合計	67	120	101	129	87	162	666



CSWが相談・活動を行った結果、支援につながったものは666件であった。支援内容としては、情報提供が251件(38%)で最も多く、情報発信支援が56件(8%)、助成金申請の支援が51件(8%)、サロン活動の立ち上げ・開催支援が30件(5%)、地域福祉の担い手育成支援が26件(4%)、公的サービス・専門機関へのコーディネートが20件(3%)などであった。

なお、その他の支援内容としては、地区社協の活動や運営に関するアドバイス、他団体との調整や顔つなぎ、様々な日常生活の困りごとに対する個別支援などであった。

3 総括

- ・ 4月から9月の上半期におけるCSWの相談・活動件数は2,242件であり、そのうち36%が震災関連の相談・活動であった。従来からの小地域福祉ネットワーク等の活動を通じた地域支援を実践しながら、被災者支援など震災関連の活動にも取り組むことができたといえる。また、全体として社協がこれまで行ってきた地域活動に関する相談支援が中心となっていることは、地域の基盤強化に繋がるものと考えられる。
- ・ 震災関連の活動に注目すると、仮設住宅および借り上げ住宅への相談支援は継続しつつも、「重点支援地区」にあたる復興公営住宅建設地域に関する相談・活動件数は増加傾向がみられ、被災者動向を反映したものとなっている。
- ・ 地区社協、町内会といった地域の支援者からの相談が多く、相談内容としては、活動資金、サロン活動、研修会等が多かった。また、当初想定した以上に多様な相談が寄せられていることがわかった。来訪時や訪問時の会話からニーズ把握や支援に繋がったケース（統計では「その他」に分類）も多く、日頃の地域との信頼関係がCSW活動にも活かされたと言える。
- ・ 活動件数1,330件のうち、往訪による活動件数は427件であり、来訪による活動件数の256件を大きく上回った。CSWの特長といえるアウトリーチ（訪問支援）が積極的に行われていた。また、アウトリーチを丁寧に行うことで、相手方からの来訪や電話による相談に繋がる効果もあったと考えられる。
- ・ 今後は、引き続き「地域の福祉力の底上げ」となる情報提供や地域支援を実践しながら、地域が主体的に地域課題や個別ニーズに気づき、解決するしくみづくりを進めていく必要がある。また、重点支援地区においても、上半期の活動実績や支援計画に基づき、地域へのアプローチを強化し、具体的な活動企画支援や担い手育成の研修会の開催などを実践し、地域連携による住民主体の見守り・支え合い活動が実施されるよう、CSWがコーディネートしていく。